

2025 年度日本学生支援機構 大学院 第一種奨学生（授業料後払い制度を含む）

1. 制度

「特に優れた業績による返還免除制度」とは（「日本学生支援機構ホームページ」抜粋）

大学院で第一種奨学金の貸与を受けた学生であって、貸与期間中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した人を対象に、その奨学金の全額または半額を返還免除する制度です。

学問分野での顕著な成果や発明・発見のほか、専攻分野に関する文化・芸術・スポーツにおけるめざましい活躍、ボランティア等での顕著な社会貢献等も含めて評価し、学生の学修へのインセンティブ向上を目的としています。

2. 対象者

- 1) 大学院第一種奨学金採用者で、2025 年度中に貸与終了する者（満期・辞退・退学を含む）。
※ただし、修士課程については修業年限を越えて在学する者は対象外とする。休学・留学期間は除く。
- 2) 必ずしも課程修了は要件とはしないが、貸与終了時の在学している課程で特に優れた業績をあげた者。

本学の具体的な評価項目・基準は以下の項目を参考に各研究科で定めています。

詳細は、各研究科で確認してください。

- ① 大学院在学中の研究論文・学術論文の内容及び数
- ② 大学院在学中の学会での発表並びに学術雑誌への掲載・表彰の内容及び数
- ③ 大学院在学中の特許及び実用新案の内容及び数
- ④ 授業科目の成績
- ⑤ 研究系 AS リサーチ・アシスタント A 若しくは B 又は教育系 AS ティーチング・アシスタント A 若しくは B などの実績
- ⑥ 学位授与状況

※なお、専攻分野に関連しない「発表会」「スポーツ競技会における成績」「ボランティア活動」は特に優れた業績としての評価対象となりません。

（注）2023 年度以降に博士後期課程で、博士課程在学中に国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」又は「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）次世代 AI 人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」の支援を受けた者は、対象外です。

3. 申請方法

申請書類は、すべて電子ファイルにさせていただき、学生ポータルサイトのアンケート画面より申請してください。

※学生ポータルサイトのアンケートのタイトル名は、『日本学生支援機構 第一種奨学金「特に優れた業績による返還免除制度」申請受付』です。

※アンケートフォームにて、提出書類のデータをアップロードしていただきます。あらかじめ、添付ファイルをご準備いただいた上で、申請してください。回答を完了すると、再編集ができませんのでご注意ください。（編集中の場合は「一時保存」してください）

※「特に優れた業績を証明する資料」は、業績の種類ごとに1つのファイルにまとめてください。1設問につき、添付ファイルは1つのファイル（最大10MBまで）となります。それ以上大きい容量になる場合は、事前にご相談ください。

4. 申請書類

※以下①～④（先端理工学研究科・理工学研究科は①～⑤）の提出物について、電子ファイルで、ご提出ください。

※書類をスキャンする場合は、書類全体を鮮明に読み取り、文字の見切れがないよう注意してください。

① 返還免除願（龍谷大学様式）＜Excel＞

※ファイル名は、返還免除願（龍谷大学様式）学籍番号+氏名としてください。

例：①返還免除願（龍谷大学様式）L24M000 龍谷太郎

※添付データにおいて、文章の末尾が見切れているものは不備として扱います。添付する前に今一度確認してください。

② 2025年度業績優秀者返還免除申請書（JASSO 様式 1-A）＜Excel＞

※記入例を確認の上、作成してください。

※ファイル名は、申請書（JASSO 様式 1-A）学籍番号+氏名としてください。

例：②申請書（JASSO 様式 1-A）L24M000 龍谷太郎

※添付データにおいて、文章の末尾が見切れているものは不備として扱います。添付する前に今一度確認してください。

③ 学業成績証明書

※2025年度前期までの学業成績が記載されているものを添付してください。

※ファイル名は、学業成績証明書+学籍番号+氏名としてください。

例：③学業成績証明書 L24M000 龍谷太郎

※用紙で取得した場合は、書類をスキャンし PDF にしてください。

④ 特に優れた業績を証明する資料（複数可）

②2025 年度業績優秀者返還免除申請書（JASSO 様式 1-A）に記載した業績の該当項目について、業績を証明する書類が必要です。

例：業績を証明する書類の典型的な資料

業績	典型的な資料例
学位論文	学位論文の表紙及び冒頭（書き出し）のページ
研究論文	論文の最初のページ ※査読付きの場合は、上記及び学術雑誌の表紙・目次
学会での発表	学会のプログラムとタイムテーブルおよび表彰状
特許及び実用新案	特許願、特許証
研究又は教育に係る補助業務の実績	雇用通知書
ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績	イベントのプログラム及び参加を依頼されたメールの文面

※ 証明する書類は、論文や著書、作品など、現物の提出は必要ありません。コピーや写真等、評価されたことがわかる資料（本人が確認できる雑誌の掲載部分や賞状の写し等）を電子ファイルにして提出してください。

※ 「学位論文」の証明書類は、論文全体の写しでなく、申請者姓名（姓のみは不可）・論文タイトル・論文内容の概要（本文の書き出しの部分又は要約）が分かる書類を添付してください。「研究論文」では、これに加えて発表年（月日はなくても可）・学術雑誌名及び発行日（査読付きの場合のみ）が分かる書類を添付してください。

※ 「学会での発表」の証明書類は、申請者姓名（姓のみは不可）・題目・会議名・発表年（月日はなくても可）・受賞名・順位（表彰や受賞がある場合のみ）が分かる書類を添付してください。

※ 各資料のファイル名に資料番号を記載し、②2025 年度業績優秀者返還免除申請書（JASSO 様式 1-A）の該当する資料番号欄へ記載してください。

※ 上記の資料番号は、各資料と②2025 年度業績優秀者返還免除申請書（JASSO 様式 1-A）との関係が分かるものであれば構いません。記入例を参考にしてください。

※ ボランティア活動に係る業績を証明する書類について、申請者が参加されたことの確認が取れない書類（写真や新聞記事など）が提出されることがあります。これらは不備となりますので、申請者本人が参加したことが分かる書類（参加した活動の名称が記載された参加者名簿など）の提出をお願いします。

※ 業績の種類ごと（②2025 年度業績優秀者返還免除申請書（JASSO 様式 1-A）に記載）

に、1 ファイルにまとめてください。

※ 業績の種類 1 つにつき 2 種類以上を提出する場合は、資料の右上に資料番号（例：資料番号 1-1、1-2、1-3・・・）を記載し、1 つのファイルにまとめてください。

※ ファイル名は、資料番号+「_（アンダーバー）」+学籍番号+氏名としてください。
例：1-1_L24M000 龍谷太郎

※ 2025 年度業績優秀者返還免除申請書（JASSO 様式 1-A）の業績 2、業績 3 は、本学は該当しませんので、記入しないでください。

※ 2025 年度業績優秀者返還免除申請書（JASSO 様式 1-A）の業績 6（専攻分野に関連した授業科目の成績）は、申請書類③と同じものを使用できます。同じものを使用する場合は、資料番号は「1」としてください。

⑤ **【先端理工学研究科・理工学研究科のみ】** 添付資料一覧(先端理工学研究科・理工学研究科様式)

※ 先端理工学研究科、理工学研究科生は、提出資料が多いため研究科内での選考の際に使用する資料が別途必要となります。

※ ファイル名は、添付資料一覧（先端理工学研究科・理工学研究科様式）+学籍番号+氏名としてください。

例：⑤添付資料一覧（先端理工学研究科・理工学研究科様式）Y24M000 龍谷太郎

【注意！】

先端理工学研究科・理工学研究科生が添付資料の一覧を作成する際は、先に先端理工学研究科・理工学研究科所定の「⑤先端理工学研究科・理工学研究科 添付資料一覧」を資料番号 1 から作成し、その後、「⑤先端理工学研究科・理工学研究科 添付資料一覧」の資料で付番した番号を「②2025 年度業績優秀者返還免除申請書（JASSO 様式 1-A）」の業績欄に落とし込み、記載してください。

したがって、②2025 年度業績優秀者返還免除申請書（JASSO 様式 1-A）の業績欄の資料は資料番号 1 から始まらなかったり、資料番号が飛んだりすることになりますが、構いません。

5. 申請締切

2026 年 1 月 19 日（月）17：00 まで

※上記の締切までに学生ポータルサイトのアンケート画面にて申請してください。

6. 選考・結果発表

学内選考・推薦の後、日本学生支援機構が返還免除者を決定します（2026 年 7 月下旬予定）。返還免除認定者には、日本学生支援機構から返還免除認定と返還免除額が通

知されます。

なお、返還免除候補者として大学から推薦をしても、日本学生支援機構での審査の結果、認定されない場合がありますので、ご承知おきください。

7. その他

(1) 口座振替（リレー口座）の加入手続きについて

申請者も、口座振替（リレー口座）の加入手続きを行ってください。

(2) 繰上返還について

全額又は半額免除の認定結果が判明する 2026 年 7 月下旬（予定）までは、申請者又は申請者の連帯保証人等から全額又は一部繰上返還を行わないでください。

(3) 機関保証料の返戻について

機関保証制度の加入者が全額免除となった場合は、返還完了となりますので、保証料が一部返戻されます。半額免除の場合は、残額の返還を完了した後に、保証料が一部返戻されます。なお、原則、保証料の振込先は、振替用口座（リレー口座）となります。

（注）保証料の返戻は、公益財団法人日本国際教育支援協会が行っております。

(4) 年度途中で退学・修了する場合

2025 年度の途中で退学又は修了する場合は、返還免除の認定結果が出る前に返還期日が到来する場合があります。本制度の申請を希望者で、年度途中で退学又は修了する場合は、学生部の奨学金窓口で相談をし「奨学金返還期限猶予願」を提出してください。

8. 問い合わせ先

学生部（深草・瀬田）shogakukin@ad.ryukoku.ac.jp

※12 月 27 日～1 月 5 日は大学一斉休業となります。

この期間を除き、ご連絡ください。

以上